

2004年11月10日

# 2004年9月中間期 決算説明会

2004年9月中間期 業績の概況  
主要製品、主要開発品の状況

杏林製薬株式会社

# 2004年9月中間期 業績の概況

決算の概観

業績の状況

業績の見込み

# 2004年9月中間期 決算概観（連結）

売上面では、国内医療用医薬品は236億円（前年比4.0%減）となりましたが、海外売上は米国BMS社向けガチフロバルクとアラガン社ザイマーが堅調に推移し51億円（前年比40.9%増）となり、連結売上高は310億円（前年比0.7%増）となりました。

利益面では、研究開発費の大幅な増加により連結営業利益は15億円（前年比52.9%減）となり、中間純利益は13億円（前年比71.8%減）となりました。

通期見込みは、薬価改定の影響が見込まれるものの、キプレスの続伸、海外売上の増加により、連結売上高652億円（前年比0.2%増）を見込みます。

利益面は、販管費（R&D費除く）の低減を図るものの、研究開発費の大幅な増加により、連結営業利益57億円（前年比35.0%減）、連結当期純利益33億円（前年比42.0%減）を見込んでいます。

単位： （百万円）	01年9月期	02年9月期	03年9月期	04年9月期	前年比	連単倍率	05年3月期 （見込み）	前年比
売上高	29,293	31,878	30,831	31,056	0.7%	1.02	65,200	0.2%
営業利益	3,831	4,806	3,387	1,595	▲52.9%	1.00	5,700	▲35.0%
経常利益	3,946	4,904	3,336	1,974	▲40.8%	1.10	6,200	▲27.9%
中間純利益	871	1,555	4,643	1,307	▲71.8%	1.17	3,300	▲42.0%
EPS	15.14円	18.05円	53.93円	17.59円	▲67.4%	1.17	44.40円	▲35.4%
総資産	127,483	135,017	138,980	118,558	▲14.7%	1.02	—	—
株主資本	100,107	103,228	109,504	91,460	▲16.5%	1.02	—	—

※2001年11月20日付けをもって額面普通株式1株を1.5株に分割

# 2004年9月中間期 業績の状況(連結)

単位:百万円

		03年9月期 (中間実績)	04年9月期 (中間実績)
売上高		30,831	31,056
医薬品事業	国内医療用	24,670	23,686
	海外医療用	3,672	5,172
	その他	1,794	1,564
医薬品外	販売促進・広告の企画制作	693	632
営業利益		3,387	1,595
経常利益		3,336	1,974
中間純利益		4,643	1,307

## <当期のポイント>

	対前年	対見込み
売上高	31,056百万円 (+ 2億円)	(+ 7億円)
国内医療用	23,686百万円 ( 9億円)	( 4億円)
= プラス要因 =	03.9実績 04.9実績 (億円)	
・キプレス続伸	43 52 (+ 9)	
= マイナス要因 =		
・国内医療用その他	21 7 ( 14)	
* 契約一時金収入の減少		
海外医療用	5,172百万円 (+ 15億円)	(+ 15億円)
= プラス要因 =		
・ガチフロ	30 48 (+ 18)	
* BMS社「テクイン」バルク発注の期ズレ アラガン社 点眼剤「ザイマー」の続伸		
その他	1,564百万円 ( 2億円)	( 3億円)
・ミルトン	14 12 ( 2)	
医薬品事業外	632百万円 (± 0億円)	(± 0億円)

原価率: 前年比2.6ポイント上昇 (33.8% 36.4%)

\* 一時金収入の減少、海外ガチフロバルクの売上増

研究開発費率: 前年比7.6ポイント上昇(11.6% 19.2%)

\* 35億円 59億円、約23億円増加

販管費率(除R&D費): 前年比 4.4ポイント低下

(43.6% 39.2%)

\* 人件費、一般管理費等の削減により販管費(R&D除)は約12億円減少

営業利益 1,595百万円 ( 17億円) ( 1億円)

営業利益率は 5.1%と5.9ポイント低下(前年比)

中間純利益 1,307百万円 ( 33億円) (+ 6億円)

・特別利益; 昨年度は厚生年金基金の代行返上による特別利益として約44億円を計上など

\* 対見込み; 早期退職による退職加算の下期への期ズレ(特別損失)

配当 9円00銭

# 2005年3月期 業績の見込み(連結)

単位:百万円

		04年3月期 (実績)	05年3月期 (見込み)
売上高		65,061	65,200
医薬品事業	国内医療用	51,546	51,600
	海外医療用	8,533	8,800
	その他	3,510	3,300
医薬品外	販売促進・広告の企画制作	1,471	1,500
営業利益		8,766	5,700
経常利益		8,597	6,200
当期純利益		5,692	3,300

< 当期のポイント >

売上高 65,200百万円 (対前年 +1億円) (対見込み -8億円)

国内医療用 51,600百万円 (対前年 ±0億円) (対見込み -7億円)

= プラス要因 = 04.3実績 05.3見込み (億円)

・キプレス 98 117 (+19)

= マイナス要因 =

・国内医療用その他 25 11 (-14)

\* 契約一時金収入の減少

海外医療用 8,800百万円 (対前年 +2億円) (対見込み +5億円)

= プラス要因 =

・ガチフロ 71 81 (+10)

\* アラガン社点眼液「ザイマー」の続伸

その他 3,300百万円 (対前年 -2億円) (対見込み -6億円)

・ミルトン 27 23 (-4)

医薬品事業外 1,500百万円 (対前年 ±0億円) (対見込み ±0億円)

原価率... 0~1ポイントの上昇を見込む

\* 薬価改定の影響や契約一時金収入の減少はあるものの

野木工場人員約80名の退職により上昇の抑制を図る

研究開発費率... 6.1ポイント上昇(12.6% 18.7%)

\* 研究開発費; 82億円 122億円(約40億円増)

販管費率(除R&D費)... 約2ポイントの低下を見込む

\* 経費の見直しによる大幅な削減

営業利益 5,700百万円 (対前年 -30億円) (対見込み -8億円)

営業利益率は8.7%と4.8ポイント低下(前年比)

当期純利益 3,300百万円 (対前年 -23億円) (対見込み -1億円)

・特別損失; 早期退職による退職加算等

配当 18円00銭(予定)

## 2004年9月中間期の現状

- ( 1 ) 国内の販売状況
- ( 2 ) 研究開発の加速化
- ( 3 ) ローコストオペレーションの推進
- ( 4 ) トピックス

# 2004年度 中間期の現状(1)

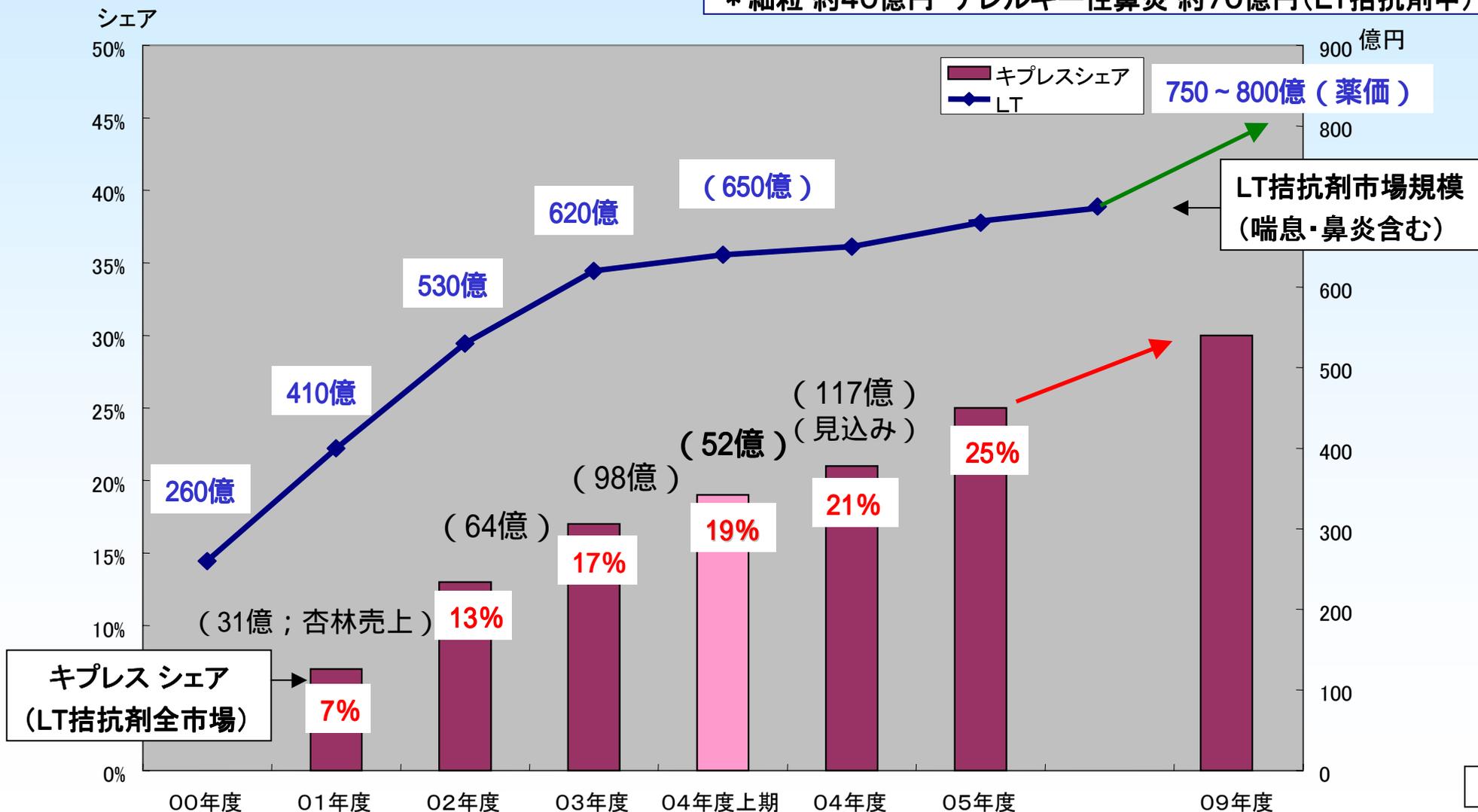
## 国内の販売状況 ① キプレス

### 当面の目標: シェア25%の05年度達成

- FC戦略の推進による処方症例数の拡大
  - ・新規患者への処方
  - ・他剤の切替え

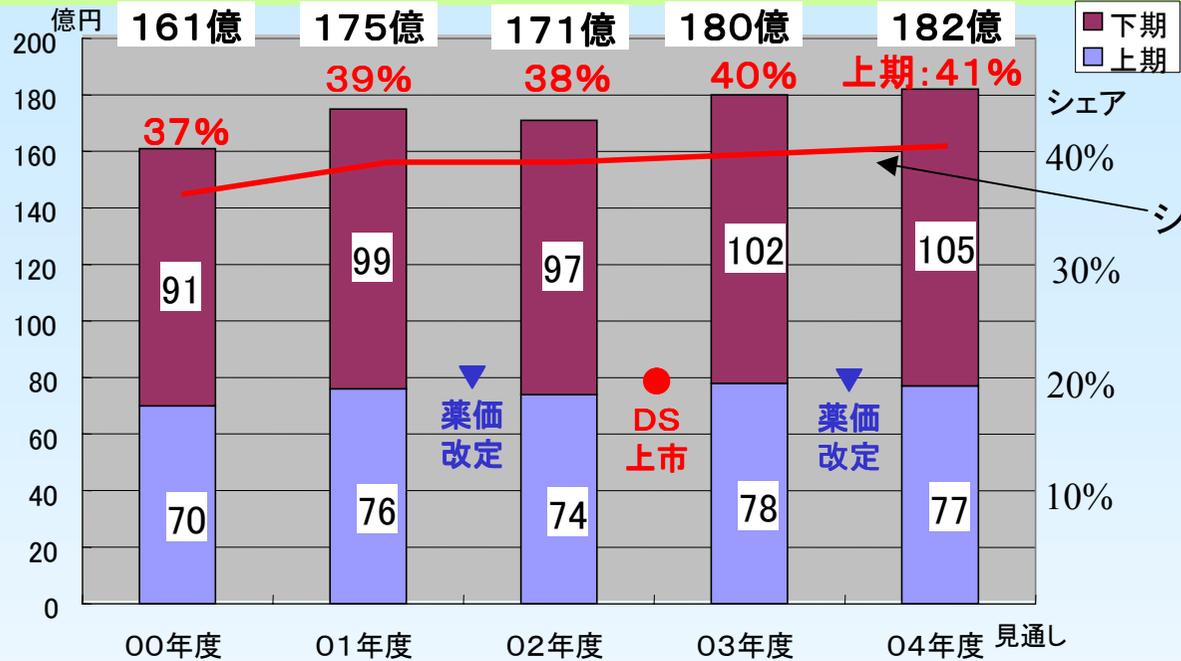
### 今後の対応: ライフサイクルマネジメントの推進

- 剤形追加(1~5才用細粒4mg)、効能追加(アレルギー性鼻炎)によるオン独占領域への参入とLT拮抗剤市場の拡大
- \* 細粒 約40億円 アレルギー性鼻炎 約70億円(LT拮抗剤中)



# 2004年度 中間期の現状(1)

## 国内の販売状況 ② ムコダイン



### ◎FC(フランチャイズ・カスタマー)戦略と ライフサイクルマネジメントの推進

シェア推移

#### (1)FC戦略

- 呼吸器内科、耳鼻科を中心にプロモーションを展開
- 上期・下期問わず実績を拡大

#### (2)ライフサイクルマネジメント

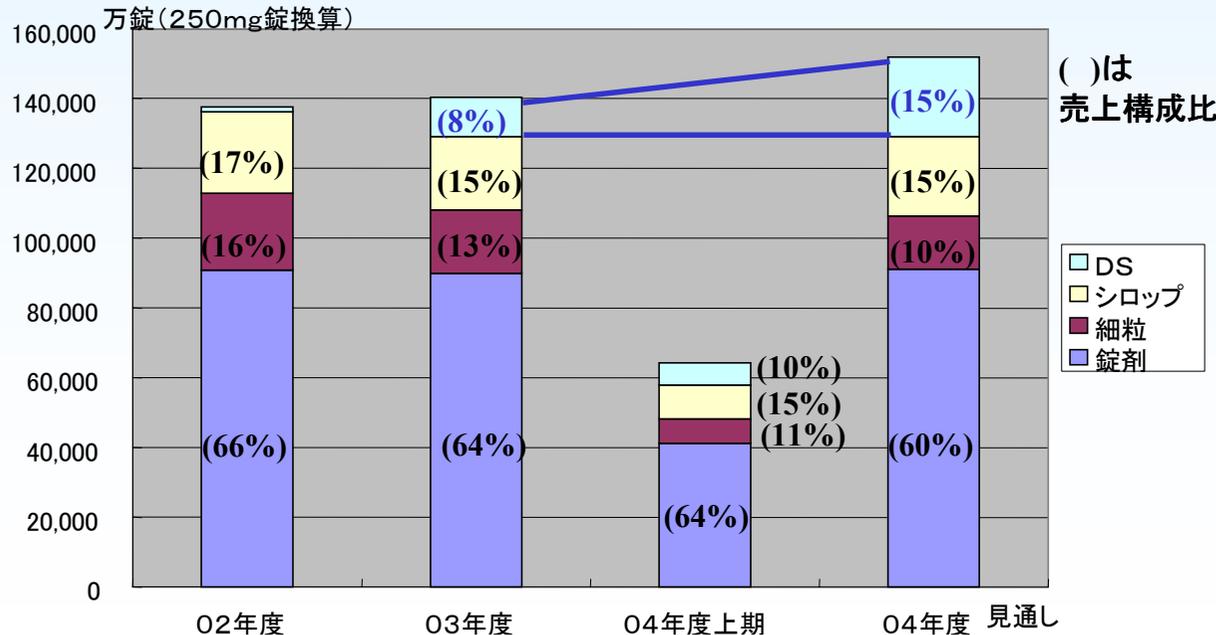
- 新剤形ムコダインDS\*の積極的納入

- ①適正使用の促進
- ②細粒からの切り替え

\*DS:ドライシロップの略



シェアの拡大と  
売上の継続的増加



## 中間期のポイントと今後の対応

### 1. ガチフロ錠国内成長シナリオの再構築

- 1) 中間期 : 泌尿器、耳鼻科領域 難治性疾患でのポジショニングを確保
- 2) 下期対策 : 呼吸器感染症(下気道)のファーストライン薬としての位置付け確保に向けた啓発活動の積極展開
  - ・学会セミナー、講演会の全国展開によるプロモーション強化(大日本製薬との共催)

### 2. ガチフロ0.3%点眼液

- ・2004年9月7日新発売(千寿製薬)
- ・目標: 本年度20億円 ピーク時100億円

2004年3月期		2005年3月期	
9月中間期	通期	9月中間期	通期見込み
6億円	17億円	9億円	22億円

ガチフロ錠: キョーリン製薬国内実績(大日本向けは除く)



## 中間期のポイント

### 1. BMS社のテクインの状況

- ・インフルエンザの流行が例年になく少なく、実績は微減
- ・HP層へ継続注力、GP層は特に高処方先の育成を図る

### 2. アラガン社 ザイマーは堅調に推移

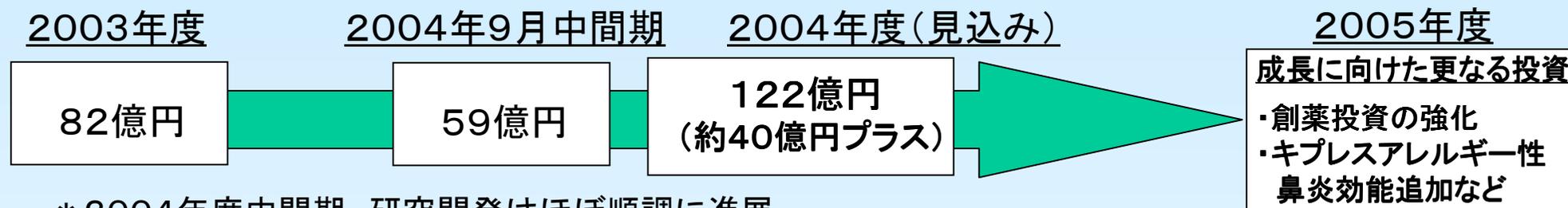
- ・眼科領域でトップシェア確保
- ・抗菌点眼薬市場で20%以上のシェアを達成

	2002年	2003年		2004年		2004年 見込み
		上期	下期	上期実績	下期見込み	
テクイン	\$ 248MM	\$ 112MM	\$ 103MM	\$ 100MM	\$ 100MM	\$ 200MM
ザイマー		\$ 5MM	\$ 25MM	\$ 35MM	\$ 35MM	\$ 70MM
杏林売上	51億円	71億円		48億円	33億円	81億円

\* テクイン、ザイマーの実績は暦年、杏林実績は年度

出典: IMSデータ(テクイン、ザイマー現地売り)

## 1. 成長に向けた研究開発投資の拡大



\* 2004年度中間期 研究開発はほぼ順調に進展

## 2. 2004年度中間期:主要開発品のステージアップ

### 1) 上市

ガチフロ点眼液(千寿製薬)	9月7日
シンセロン錠(日清キョーリン製薬/ヤクルト本社)	9月7日

### 2) ステージアップ

KRP-197(ウリトス)	Ph III	⇒申請	(10月)
キプレス細粒4mg(剤型追加)	Ph III	⇒申請	(7月)
キプレス(効能追加;アレルギー性鼻炎)	Ph II	⇒Ph III	(10月)
KRP-101	海外Ph I	⇒Ph II a	(6月)
N-5984	国内Ph I	⇒Ph II a	(10月)
	海外Ph I	⇒Ph II a	(10月)

2004年度  
中間期の現状(2)

# 研究開発の加速化: 「NEXT ONE」への積極投資

## キョーリン製薬 創薬グローバルネットワーク

POC 2テーマ/年の達成

### ○サテライト研究所

欧州

キョーリンスコットランド  
研究所(2000年11月設立)

米国

検討中

### ○ベンチャー企業

米国

ActivX 社  
DPI社

他

製薬企業

### ○その他

大学・外部研究機関

### キョーリン創薬研究所

<重点領域>

感染症

免疫・アレルギー

代謝性疾患

### POCテーマ化

-2004年度-

合成抗菌剤  
(米国メルク社)

候補品  
PDE阻害剤  
(KSRL)

候補品  
代謝性疾患  
(ActivX社)

ターゲットの特定

リード探索

リード化合物の最適化

POCテーマ

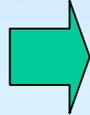
# ローコストオペレーションの推進

## 1. コスト構造の改革

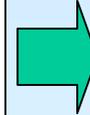
2004年度

2006年度～

- ① 新生産体制: 工場2拠点化
- ② 製造品のアウトソース



- 労務費の削減
- ・ 6～7億円/年の削減を見込む
- アウトソース予定品の一部工程の委託を目指す



- ・ 06年4月より2拠点化
- \* 総額80億円の投資
- ・ 01年度350名→06年度200名体制へ
- ・ 05年4月より一部工程の委託製造開始
- \* 少量・技術的に確立した製品
- ・ 06年4月より主要製品を能代工場で製造
- \* 大量・技術的に難しい製品のみ

## 2. 研究開発費を除く販管費の削減

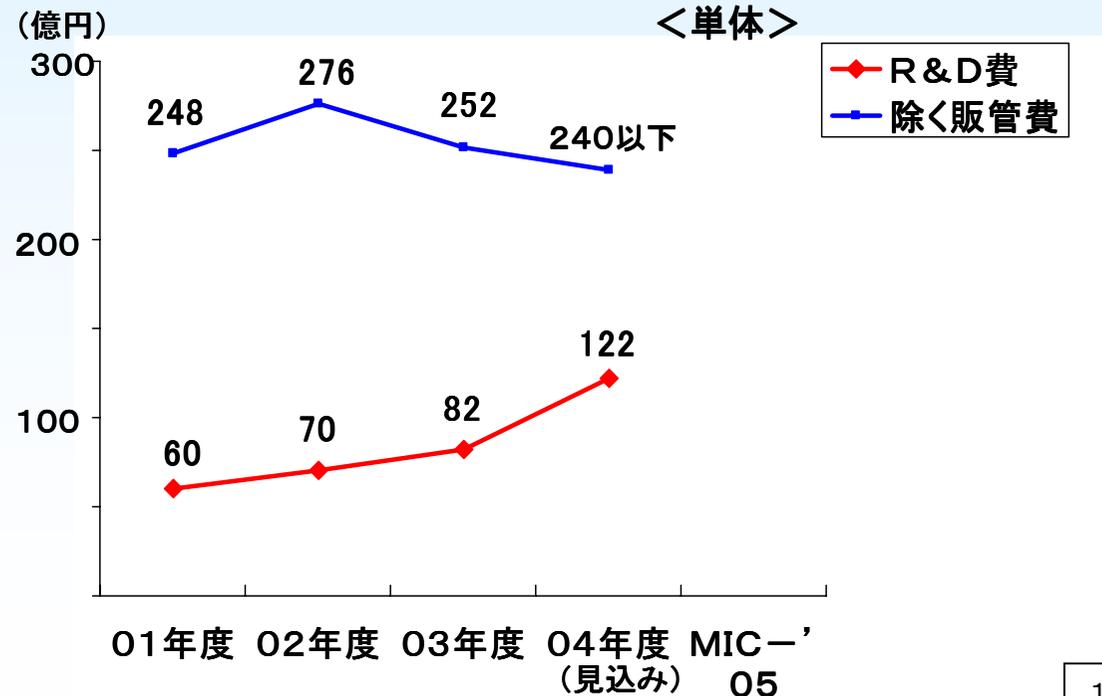
◎ 中間期: 見込み通り約12億円減

- ① 企業広告費の削減
- ② 人件費の抑制
- ③ その他一般経費の削減

◎ MIC-'05計画達成に向けて

2005年度(R&D費除)販管費率35%台を目指す

- ① 年齢構成の適正化
- ② 直間比率の一層の改善



# トピックス ウリトスの申請と抗コリン剤市場の拡大

## 1. 膀胱選択的M1・M3受容体拮抗剤ウリトスの概要

- (1) 適応症: 過活動膀胱における尿失禁・頻尿・尿意切迫感(見込み)
- (2) 特徴: 膀胱への高い選択性による口渇などの副作用軽減
- (3) 申請月: 2004年10月

\* 上市時期: 申請後2年以内の上市を目指す

## 2. 尿失禁治療薬の市場拡大を図る

- (1) 潜在患者の啓発による治療患者数の増加
- (2) 過活動膀胱の浸透(治療機会の拡大)

### ①尿失禁治療薬の国内市場規模 (2003年度)

総額 約260億円

・プロピペリン(大鵬・富士レビオ)	180億円
・オキシブチニン(アベンティス)	35億円
・フラボキサート(日本新薬)	40億円

## 過活動膀胱の定義

### 頻尿・尿失禁①

腹圧性尿失禁  
混合型尿失禁(腹圧性+切迫性)  
切迫性尿失禁  
・尿意切迫感  
・頻尿  
・夜間頻尿

### 過活動膀胱②

### ②過活動膀胱推定患者数: 約810万人 (40歳以上人口の12.4%)

このうち

- ・失禁なし(OABドライ): 6.0%
- ・失禁あり(OABウェット): 6.4%

治療患者数: 約170万人(約20%)

日本排尿機能学会「排尿に関する疫学的研究委員会」実施の大規模疫学調査結果(2003)より

# 主要開発品の状況

開発品一覧

導出品一覧

# 新規事業開発の現状

ビストナー事業ファンド

# 開発品一覧 (2004年11月8日発表)

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
* 上市 (04年9月)		シンセロン錠 8mg N-3389 (錠)	制吐剤	日清製粉	5-HT3と5-HT4拮抗作用を併せ持つ。	日清キョーリン製薬が単独で申請 ・日清製粉グループ本社 日清ファルマと共同開発 ・ヤクルト本社より新発売
* 申請 (04年10月)	Ph I	ウリス KRP-197 (錠)	尿失禁治療剤	自社	抗コリン作用が強く、口渇等の副作用軽減が期待される。	海外: 英国においてPh I 終了 国内: 小野薬品工業と共同開発・共同販売(予定)
* 申請 (04年7月)		キプレス細粒 4mg モンテルカスト	気管支喘息治療剤	メルク社	小児(1歳~5歳)用の新規製剤	○ 剤形追加 ○ 用法・用量の変更 ・万有製薬と共同開発
* Ph III (04年10月)		モンテルカスト	気管支喘息治療剤	メルク社	成人: アレルギー性鼻炎 1日1回投与で、LTD4の遮断による鼻炎症状(鼻閉、鼻漏、くしゃみ)の改善と共に、眠気などの副作用軽減が期待できる	○ 効能追加 ・万有製薬と共同開発
Ph III		ペキロン ネイルラッカー	爪白癬治療剤	自社	日本初のネイルラッカー製剤。	マルホと共同開発
* Ph II (04年10月)	* Ph II (10月)	N-5984 (錠)	糖尿病治療剤 抗肥満剤	日清製粉	選択性の高い $\beta$ 3受容体作動薬。 高血糖及び耐糖能、高インスリン血症を改善すると共に血漿中TG、FFAを低下させる。	日清製粉グループ 日清ファルマと共同開発
	Ph II (6月)	KRP-101 (錠)	高脂血症治療剤	自社	PPAR $\alpha$ の選択的agonist。LDLコレステロールおよび中性脂肪を低下させ、HDLコレステロールを高めることにより、トータルの脂質プロファイルの改善が期待できる。	

\* : 前回(05年3月期第1四半期)からの変更点を示す

# 開発品一覧 (2004年11月8日発表)

## 導出品の状況

製品名・開発コード	導出先	開発段階	薬効	起源	備考
ガチフロ0.3%点眼液 ガチフロキサシン (点眼液)	千寿製薬	* 上市 (04年9月)	合成抗菌剤	自社	日本における開発、製剤及び販売権を供与 9月7日新発売

## 導出品の状況(前臨床)

\* : 04年9月中間期発表分

製品名・開発コード	導出先・ 共同研究先	薬効	起源	備考
未定	米国 メルク社	合成抗菌剤	自社 米国メルク社	・共同研究 ・独占的ライセンスに関する契約締結(04年7月)
アルファガン/ アルファガンP	千寿製薬	緑内障治療薬	米国 アラガン社	・アラガン社より導入 (ガチフロキサシン点眼液のクロスライセンス) ・千寿製薬に導出(04年5月)
ケタス	米国 メディシノバ社	脳血管障害治療薬	自社	・多発性硬化症の適応での日本、中国、韓国、 台湾を除く全世界における独占的な開発、製造 販売権を供与(04年10月)

# 新規事業の拡充 —新しい事業開発の現状—

## 1. ビストナー事業ファンドの状況

- ・設立 2000年9月
- ・出資額 50億円(既出資額 40億円 既投資額 21億円)
- ・対象領域 「医薬品関連」「医療関連」「介護関連」「健康関連」

### 投資案件

領域
<医薬品領域> ゲノム創薬など
<医療領域> 代替医療 再生医療 ITなど
<介護領域> 施設経営 在宅介護 関連製品など
<健康領域> 食品 化粧品など



投資件数	投資先の事業内容
4	・殺菌消毒剤(食肉用等) ・ウイルス性肝炎、関節リウマチ等の治療薬開発 ・機能性ペプチドを用いた創薬、健康食品・スキンケア製品の開発／製造／販売 ・ゲノム創薬 *1
6	・C型肝炎の温熱治療装置・治療法の研究開発 ・非侵襲的医療関連計測機器の開発 ・レーザーによる近視治療の事業化 ・医学文献／医療情報等のネットワーク配信サービス ・PET画像診断センター設立企画／運営支援 ・医療施設／医療機器の賃貸および医療経営コンサルティング
4	・有機汚泥処理システム(介護用トイレなど)の事業化 ・介護施設の運営・コンサルタント ・介護ヘルパー用等ASPソフト開発／販売
8	・化粧品／健康食品通信販売 ・汚水処理用各種担体の事業化 ・証券会社(中国の漢方、健食等の情報強化) ・農業用資材／農産物流通事業 ・食品素材と製品開発を中心とした事業化 ・スキンケア用品開発／販売(2社) *2 ・食品事業 *1

合計22件投資

\*1;新規投資先 \*2;(株)ジモス 04年3月公開

# 2004年9月中間期 決算概要

## 財務諸表の概況

# 損益計算書の概要：連結

(単位：百万円)

＜連結＞	03年9月中間期		04年9月中間期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	30,831	100.0%	31,056	100.0%	0.7%	225
売上原価	10,427	33.8%	11,311	36.4%	8.5%	883
売上総利益	20,403	66.2%	19,744	63.6%	▲3.2%	▲658
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	17,015 (3,577)	55.2% (11.6%)	18,149 (5,972)	58.5% 19.2%	6.7% (67.0%)	1,133 (2,395)
営業利益	3,387	11.0%	1,595	5.1%	▲52.9%	▲1,791
営業外収益	286	0.9%	477	1.6%	66.5%	190
営業外費用	338	1.1%	98	0.3%	▲70.9%	▲239
経常利益	3,336	10.8%	1,974	6.4%	▲40.8%	▲1,361
特別利益	4,482	14.5%	239	0.7%	▲94.7%	▲4,243
特別損失	17		191	0.6%	—	173
税金等調整前 中間純利益	7,801	25.3%	2,022	6.5%	▲74.1%	▲5,778
法人税・住民税 及び事業税	1,537	4.9%	777	2.5%	▲49.4%	▲760
法人税等調整額	1,620	5.2%	▲61	▲0.2%	—	▲1,682
中間純利益	4,643	15.1%	1,307	4.2%	▲71.8%	▲3,335

## ＜適応範囲及び持分法の適用について＞

連結子会社5社：(株)杏文堂 (株)ビストナー  
 ビストナー番号投資事業有限責任組合  
 Kyorin USA, Inc  
 Kyorin Europe GmbH  
 持分法適用会社2社：日清キョーリン製薬(株)  
 日本理化学薬品(株)

	03/9	04/9 (億円)
売上高	308	310
(医薬品事業)	301	304
＜医療用医薬品：国内＞	246	236
＝製品別売上＝		
ムコダイン	78	77
バクシダール	4	3
ケタス	35	32
アブレース	15	13
ロカルトロール	14	12
ペンタサ	30	31
キプレス	43	52
ガチフロ	6	9
＜医療用医薬品：海外＞	36	51
ノルフロキサシン	6	3
ガチフロキサシン	30	48
＜医薬品事業のその他＞	17	15
うち ミルトン	14	12
(その他事業)	6	6
・販売促進、広告の企画制作		

# 損益計算書の概要：連結 -

(単位:百万円)

<連結>	03年9月中間期		04年9月中間期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	30,831	100.0%	31,056	100.0%	0.7%	225
国内医療用	24,670	80.0%	23,686	76.3%	▲4.0%	▲984
海外医療用	3,672	11.9%	5,172	16.7%	40.9%	1,500
その他	1,794	5.8%	1,564	5.0%	▲12.8%	▲230
医薬品事業外	693	2.2%	632	2.0%	▲8.7%	▲60

## <当期のポイント>

		対前期	対見込み
売上高	31,056百万円	(+ 2億円)	(+ 7億円)
国内医療用	23,686百万円	( 9億円)	( 4億円)
= プラス要因 =	前期実績	当期実績	
・キプレス続伸	43	52	(+ 9)
= マイナス要因 =			
・国内医療用その他	21	7	( 14)
* 契約一時金収入の減少			
海外医療用	5,172百万円	(+ 15億円)	(+ 15億円)
= プラス要因 =			
・ガチフロ	30	48	(+ 18)
* BMS社「テクイン」バルク発注の期ズレ			
アラガン社 点眼剤「ザイマー」の続伸			
その他	1,564百万円	( 2億円)	( 3億円)
・ミルトン	14	12	( 2)
医薬品事業外	632百万円	(± 0億円)	(± 0億円)
(販売促進、広告の企画制作)			

# 損益計算書の概要：連結 -

(単位：百万円)

<連結>	03年9月中間期		04年9月中間期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	30,831	100.0%	31,056	100.0%	0.7%	225
売上原価	10,427	33.8%	11,311	36.4%	8.5%	883
売上総利益	20,403	66.2%	19,744	63.6%	▲3.2%	▲658
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	17,015 (3,577)	55.2% (11.6%)	18,149 (5,972)	58.5% 19.2%	6.7% (67.0%)	1,133 (2,395)
営業利益	3,387	11.0%	1,595	5.1%	▲52.9%	▲1,791
営業外収益	286	0.9%	477	1.6%	66.5%	190
営業外費用	338	1.1%	98	0.3%	▲70.9%	▲239
経常利益	3,336	10.8%	1,974	6.4%	▲40.8%	▲1,361
特別利益	4,482	14.5%	239	0.7%	▲94.7%	▲4,243
特別損失	17		191	0.6%	—	173
税金等調整前 中間純利益	7,801	25.3%	2,022	6.5%	▲74.1%	▲5,778
法人税・住民税 及び事業税	1,537	4.9%	777	2.5%	▲49.4%	▲760
法人税等調整額	1,620	5.2%	▲61	▲0.2%	—	▲1,682
中間純利益	4,643	15.1%	1,307	4.2%	▲71.8%	▲3,335

## <当期のポイント>

- 売上原価 11,311百万円 (+8億円)
  - 売上原価率 33.8% → 36.4% (+2.6ポイント)
  - 【原価率上昇要因】
  - ・一時金収入の減少、海外ガチフロバルクの売上増など
- 研究開発費 5,972百万円 (+23億円)
  - 研究開発費率 11.6% → 19.2% (+7.6ポイント)
- 販管費(除R&D費) 12,177百万円 (▲12億円)
  - 販管費率 43.6% → 39.2% (▲4.4ポイント)
  - ・研究開発費は約23億円増加したが、一般管理費等の削減努力により研究開発費を除く販管費は約12億円減少
- 営業利益 1,595百万円 (▲17億円)
  - 営業利益率 11.0% → 5.1% (▲5.9ポイント)
- 経常利益 1,974万円 (▲13億円)
  - 経常利益率 10.8% → 6.4% (▲4.4ポイント)
  - 【営業外収益】 190百万円増
  - 【営業外費用】 239百万円減
- 中間純利益 1,307百万円 (▲33億円)
  - 【特別利益】 4,243百万円減
  - ・昨年度厚生年金基金代行部分返上益 約44億円
  - 【特別損失】 173百万円増
  - ・固定資産売却・除却損 85百万円
  - ・固定資産臨時償却損 105百万円

# 貸借対照表の概要：連結

(単位:百万円)

<連結>	03年9月中間期		04年3月期		04年9月中間期		
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
<b>流動資産</b>	<b>99,004</b>	<b>71.2%</b>	<b>81,198</b>	<b>66.9%</b>	<b>72,539</b>	<b>61.2%</b>	<b>▲8,658</b>
現金および預金	57,368		39,235		24,969		
受取手形及び売掛金	19,580		22,560		19,569		
有価証券	4,725		4,221		13,523		
棚卸資産	11,090		9,408		9,464		
その他流動資産	6,240		5,772		5,012		
<b>固定資産</b>	<b>39,975</b>	<b>28.8%</b>	<b>40,157</b>	<b>33.1%</b>	<b>46,018</b>	<b>38.8%</b>	<b>5,861</b>
有形固定資産	17,382		14,702		16,218		
無形固定資産	4,926		4,858		4,690		
投資その他	17,667		20,595		25,110		
<b>流動負債</b>	<b>14,389</b>	<b>10.3%</b>	<b>14,261</b>	<b>11.7%</b>	<b>11,782</b>	<b>10.0%</b>	<b>▲2,479</b>
支払手形及び買掛金	5,231		5,618		4,636		
その他流動負債	9,157		8,642		7,145		
<b>固定負債</b>	<b>15,086</b>	<b>10.9%</b>	<b>15,237</b>	<b>12.6%</b>	<b>15,316</b>	<b>12.9%</b>	<b>79</b>
<b>負債合計</b>	<b>29,476</b>	<b>21.2%</b>	<b>29,498</b>	<b>24.3%</b>	<b>27,098</b>	<b>22.9%</b>	<b>▲2,400</b>
資本金	4,317	3.1%	4,317	3.6%	4,317	3.6%	
資本剰余金	949	0.7%	949	0.8%	949	0.8%	
利益剰余金	104,375	75.1%	104,735	86.3%	105,257	88.8%	
その他有価証券評価差額金	536	0.4%	2,478	2.0%	1,597	1.3%	
為替換算調整勘定	15	0.0%	▲4	0.0%	▲2	▲0.0%	
自己株式	▲688	▲0.5%	▲20,619	▲17.0%	▲20,659	▲17.4%	
<b>資本合計</b>	<b>109,504</b>	<b>78.8%</b>	<b>91,856</b>	<b>75.7%</b>	<b>91,460</b>	<b>77.1%</b>	<b>▲396</b>
<b>総資産合計</b>	<b>138,980</b>	<b>100.0%</b>	<b>121,355</b>	<b>100.0%</b>	<b>118,558</b>	<b>100.0%</b>	<b>▲2,796</b>

## <当期のポイント>

- **流動資産:8,658百万円減**
  - ・現金および預金の減少(14,265百万円減)
  - ・受取手形、売掛金の減少(2,991百万円減)
  - ・有価証券の増加 (9,301百万円増)
- **固定資産:5,861百万円増**
  - ・有形固定資産の増加 (1,515百万円増)
  - ・無形固定資産の減少 (168百万円減)
  - ・投資その他の増加 (4,514百万円増)
- **流動負債:2,479百万円減**
  - ・支払手形及び買掛金の減少(982百万円減)
  - ・その他流動負債の減少 (1,497百万円減)
  - \* 未払法人税などの減少 (698百万円減)
- **固定負債: 79百万円増**
  - ・退職給付引当金 (124百万円増)
- **資本合計: 396百万円減**
  - ・その他有価証券評価差額金の減少 (881百万円減)

# 研究開発・設備投資・減価償却の状況

(単位:百万円)

< 通 期 >

< 半 期 >	00年9月期	01年9月期	02年9月期	03年9月期	04年9月期		05年3月期 (見込み)
					実 績	前同比	
研究開発費	2,795	2,954	3,130	3,577	5,972	67.0%	12,200
設備投資(計上ベース)	1,099	950	2,448	3,564	3,281	▲7.9%	6,600
減価償却費	1,312	1,518	1,597	1,655	1,789	8.1%	3,600

< 設備投資の状況 (実績 / 計画) >

	04年3月期	05年3月期	
	実 績	中間実績	通期計画
( 実績 )			
新製品製造設備・製造機械設備(各工場)	32億円		
支店社屋・社宅新築	9億円		
管理・販売設備	9億円		
( 実績 / 計画 )			
製品製造設備・製造機械設備(各工場)		25億円	53億円
管理・販売設備		5億円	7億円

# 製品売上の状況

(単位:億円)

<通 期>

<半 期>		01年9月期	02年9月期	03年9月期	04年9月期		04年3月期 (実績)	05年3月期 (見込み)
					実績	前 同 比		
国 内 売 上	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	17	25	43	52	21.2%	98	117
	ガチフロ(自社販売) (合成抗菌剤)	—	19	6	9	51.0%	17	22
	ムコダイン (去痰剤)	76	74	78	77	▲1.1%	180	182
	バクシダール (合成抗菌剤)	8	6	4	3	▲20.5%	9	5
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	37	36	35	32	▲8.8%	70	67
	アプレース (抗潰瘍剤)	21	18	15	13	▲13.3%	29	25
	ロカルトロール (骨粗鬆症治療剤)	19	16	14	12	▲13.3%	27	24
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	22	26	30	31	6.4%	60	63
O T C	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	14	16	14	12	▲14.3%	27	23
海 外 売 上	海外売上合計	59	31	36	51	40.9%	85	88
	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	48	19	30	48	59.8%	71	81
	ノルフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	10	8	6	2	▲75.5%	11	4
	海外売上比率	20.9%	10.2%	12.2%	17.0%	—	13.4%	16.7%
自社品比率		84.0%	83.1%	82.0%	81.4%	—	83.5%	81.0%

# 主な業績項目の推移：連結

< 半 期 >	01年9月期	02年9月期	03年9月期	04年9月期
売上高 (輸出高)	29,293 (5,984)	31,878 (3,191)	30,831 (3,672)	31,056 (5,172)
売上原価 (売上原価率)%	9,613 (32.8%)	9,848 (30.9%)	10,427 (33.8%)	11,311 (36.4%)
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	15,847 (54.1%)	17,222 (54.0%)	17,015 (55.2%)	18,149 (58.5%)
うち研究開発費 (研究開発费率)%	2,954 (10.1%)	3,130 (9.8%)	3,577 (11.6%)	5,972 (19.2%)
営業利益 (営業利益率)%	3,831 (13.1%)	4,806 (15.1%)	3,387 (11.0%)	1,595 (5.1%)
経常利益 (経常利益率)%	3,946 (13.5%)	4,904 (15.4%)	3,336 (10.8%)	1,974 (6.4%)
中間純利益 (中間純利益率)%	871 (3.0%)	1,555 (4.9%)	4,643 (15.1%)	1,307 (4.2%)
一株当たり当期利益(円)	15.14円	18.05円	53.93円	17.59円
資本金	3,623	4,317	4,317	4,317
総資産	127,483	135,017	138,980	118,558
株主資本	100,107	103,228	109,504	91,460
一株当たり株主資本(円)	1,739円	1,197円	1,272円	1,230円
株主資本利益率%	0.9%	1.5%	4.3%	1.4%
株主資本比率%	78.5%	76.5%	78.8%	77.1%
人員(人)	1,746人	1,757人	1,775	1,700
設備投資	950	2,448	3,565	3,281
減価償却費	1,520	1,603	1,660	1,794

< 通 期 > (単位:百万円)

04年3月期	05年3月期 (見込み)
65,061 (8,533)	65,200 (8,800)
22,389 (34.4%)	
33,905 (52.1%)	
8,219 (12.6%)	12,200 (18.7%)
8,766 (13.5%)	5,700 (8.7%)
8,597 (13.2%)	6,200 (9.5%)
5,692 (8.7%)	3,300 (5.1%)
68.76円	44.40円
4,317	4,317
121,355	
91,856	
1,234.80円	
5.8%	
75.7%	
1,652人	
5,670	6,600
4,774	3,600

# 損益計算書の概要：単体

(単位：百万円)

＜単体＞	03年9月中間期		04年9月中間期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	30,137	100.0%	30,423	100.0%	0.9%	285
売上原価	9,899	32.8%	10,830	35.6%	9.4%	931
売上総利益	20,238	67.2%	19,592	64.4%	▲3.2%	▲645
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	16,854 (3,577)	55.9% 11.9%	17,999 (5,972)	59.2% 19.6%	6.8% (67.0%)	1,144 (2,395)
営業利益	3,383	11.3%	1,593	5.2%	▲52.9%	▲1,790
営業外収益	348	1.2%	341	1.1%	▲2.0%	▲6
営業外費用	440	1.5%	144	0.4%	▲67.3%	▲296
経常利益	3,291	11.0%	1,790	5.9%	▲45.6%	▲1,500
特別利益	4,483	14.9%	182	0.6%	▲95.9%	▲4,300
特別損失	17	0.1%	191	0.6%	—	173
税引前中間純利益	7,757	25.8%	1,782	5.9%	▲77.0%	▲5,974
法人税・住民税 及び事業税	1,529	5.1%	746	2.5%	▲51.2%	▲782
法人税等調整額	1,613	5.4%	▲78	▲0.3%	—	▲1,692
中間純利益	4,614	15.3%	1,114	3.7%	▲75.8%	▲3,500

## ＜当期のポイント＞

- 売上原価 19,592百万円 (+9億円)  
●売上原価率 32.8%→35.6% (+2.8ポイント)
- 研究開発費 5,972百万円 (+23億円)  
●研究開発費率11.9%→19.6% (+7.7ポイント)
- 販管費(除R&D費) 12,027百万円 (▲12億円)  
●販管費率 44.1%→39.5% (▲4.6ポイント)  
・研究開発費は約23億円増加したが、一般管理費等の削減努力により研究開発費を除く販管費は約12億円減少
- 営業利益 1,593百万円 (▲17億円)  
●営業利益率 11.3%→5.2% (▲6.1ポイント)
- 経常利益 1,790百万円 (▲15億円)  
●経常利益率 11.0%→5.9% (▲5.1ポイント)  
【営業外収益】 6百万円減  
【営業外費用】 296百万円減
- 中間純利益 1,114百万円 (▲35億円)  
【特別利益】 4,300百万円減  
・昨年度厚生年金基金代行部分返上益 約44億円  
【特別損失】 173百万円増

# 貸借対照表の概要：単体

(単位:百万円)

<単体>	03年9月中間期		04年3月期		04年9月中間期		
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
<b>流動資産</b>	<b>97,202</b>	<b>70.7%</b>	<b>79,537</b>	<b>66.5%</b>	<b>70,109</b>	<b>60.1%</b>	<b>▲9,428</b>
現金および預金	56,151		38,089		23,001		
受取手形	414		451		434		
売掛金	18,792		21,699		18,842		
有価証券	4,613		4,109		13,411		
棚卸資産	11,087		9,416		9,454		
その他流動資産	6,143		5,769		4,964		
<b>固定資産</b>	<b>40,188</b>	<b>29.3%</b>	<b>40,066</b>	<b>33.5%</b>	<b>46,542</b>	<b>39.9%</b>	<b>6,476</b>
有形固定資産	17,339		14,667		16,187		
無形固定資産	4,922		4,855		4,687		
投資その他	17,926		20,543		25,667		
<b>流動負債</b>	<b>14,020</b>	<b>10.2%</b>	<b>13,875</b>	<b>11.6%</b>	<b>11,431</b>	<b>9.8%</b>	<b>▲2,443</b>
支払手形	1,112		1,237		1,055		
買掛金	3,676		3,806		3,086		
その他流動負債	9,230		8,831		7,290		
<b>固定負債</b>	<b>15,034</b>	<b>10.9%</b>	<b>15,184</b>	<b>12.7%</b>	<b>15,262</b>	<b>13.1%</b>	<b>77</b>
<b>負債合計</b>	<b>29,054</b>	<b>21.1%</b>	<b>29,060</b>	<b>24.3%</b>	<b>26,694</b>	<b>22.9%</b>	<b>▲2,366</b>
資本金	4,317	3.1%	4,317	3.6%	4,317	3.7%	
資本剰余金	949	0.7%	949	0.8%	949	0.8%	
利益剰余金	103,254	75.2%	103,462	86.5%	103,793	89.0%	
その他有価証券評価差額金	501	0.4%	2,430	2.0%	1,552	1.3%	
自己株式	▲685	▲0.5%	▲20,616	▲17.2%	▲20,655	▲17.7%	
<b>資本合計</b>	<b>108,337</b>	<b>78.9%</b>	<b>90,543</b>	<b>75.7%</b>	<b>89,957</b>	<b>77.1%</b>	<b>▲585</b>
<b>総資産合計</b>	<b>137,391</b>	<b>100.0%</b>	<b>119,604</b>	<b>100.0%</b>	<b>116,652</b>	<b>100.0%</b>	<b>▲2,952</b>

## <当期のポイント>

- 流動資産: 9,428百万円減
  - ・現金及び預金の減少 (15,088百万円減)
  - ・売掛金の減少 (2,857百万円減)
  - ・有価証券の増加 (9,301百万円増)
  - ・その他流動資産の減少 (805百万円減)
- 固定資産: 6,476百万円増
  - ・有形固定資産の増加 (1,519百万円増)
  - ・無形固定資産の減少 (167百万円減)
  - ・投資その他の増加 (5,124百万円増)
- 流動負債: 2,443百万円減
  - ・支払手形の減少 (181百万円減)
  - ・買掛金の減少 (720百万円減)
  - ・その他の減少 (1,541百万円減)
- 固定負債: 77百万円増
- 資本合計: 585百万円減
  - ・その他有価証券評価差額金の減少 (878百万円減)

# 主な業績項目の推移：単体

< 通 期 > (単位:百万円)

< 半 期 >	00年9月期	01年9月期	02年9月期	03年9月期	04年9月期	04年3月期	05年3月期 (見込み)
売上高 (輸出高)	25,620 (3,589)	28,695 (5,984)	31,164 (3,191)	30,137 (3,672)	30,423 (5,172)	63,589 (8,533)	63,800 (8,800)
売上原価 (売上原価率)%	8,234 (32.1%)	9,169 (32.0%)	9,315 (29.9%)	9,899 (32.8%)	10,830 (35.6%)	21,273 (33.5%)	
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	13,897 (54.3%)	15,743 (54.9%)	17,109 (54.9%)	16,854 (55.9%)	17,999 (59.2%)	33,515 (52.7%)	
うち研究開発費 (研究開発费率)%	2,795 (10.9%)	2,954 (10.3%)	3,130 (10.0%)	3,577 (11.9%)	5,972 (19.6%)	8,219 (12.9%)	12,200 (19.1%)
営業利益 (営業利益率)%	3,488 (13.6%)	3,788 (13.2%)	4,739 (15.2%)	3,383 (11.3%)	1,593 (5.2%)	8,799 (13.8%)	5,800 (9.1%)
経常利益 (経常利益率)%	3,710 (14.5%)	3,874 (13.5%)	4,626 (14.8%)	3,291 (11.0%)	1,790 (5.9%)	8,376 (13.2%)	5,900 (9.2%)
中間純利益 (中間純利益率)%	949 (3.7%)	867 (3.0%)	1,319 (4.2%)	4,614 (15.3%)	1,114 (3.7%)	5,512 (8.7%)	3,000 (4.7%)
一株当たり当期利益(円)	16.49円	15.07円	15.31円	53.60円	14.99円	66.59円	40.36円
資本金	3,623	3,623	4,317	4,317	4,317	4,317	4,317
総資産	118,674	126,829	133,696	137,391	116,652	119,604	
株主資本	98,359	99,791	102,355	108,337	89,957	90,543	
一株当たり株主資本(円)	1,708円	1,733円	1,187円	1,258円	1,210円	1,217.09円	
株主資本利益率%	1.0%	0.9%	1.3%	4.3%	1.2%	5.7%	
株主資本比率%	82.9%	78.7%	76.5%	78.9%	77.1%	75.7%	
人員(人)	1,679人	1,692人	1,695人	1,717	1,646	1,597人	
設備投資	1,099	950	2,448	3,564	3,281	5,668	6,600
減価償却費	1,312	1,518	1,597	1,655	1,789	4,763	3,600